

画図小学校だより

令和7年(2025年)

1月16日号

文責：深川

引き締まる寒さの中、3学期のスタートをきりました

新しい年、令和7年(2025年)を迎え、予定通り1月8日(水)に3学期の始業式を執り行うことができました。12月はインフルエンザの流行を心配する時期もありましたが、3学期始業式の朝を、元気な画図っ子との挨拶でスタートできたことをうれしく思います。

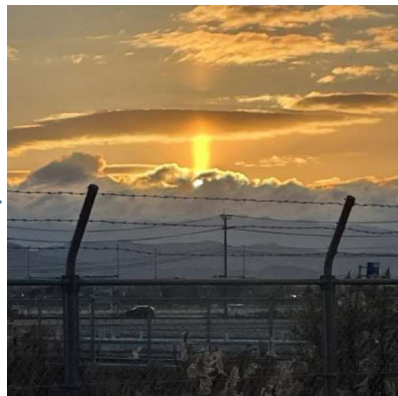
3学期の始業式は寒さ対策及び感染対策のためオンラインで実施しました。はじめに、3年生と5年生の代表児童が、2学期の振り返りと3学期のめあてについて発表してくれました。そのあと校長からも、「3学期は短いけれど次の学年へのとても大事な時期である」ことを中心に話をしました。例として、冬のサクラの枝についてとりあげました。「葉っぱもなく枯れているように見えるかもしれないがそうではない。寒さに耐えながらつぼみの中では、春に向けた準備を着々と進めている。みなさんも、今の学年で地道に身に付けたことが、4月からの新しい学年で開花するんですよ。」「代表の3年生と5年生も、発表の中で次の学年に向けためあてを話してくれましたね。3学期は春の進級に向け、新しい学年になったつもりで何事にも前向きに取り組みましょう。」と、学年が上がる新年度を見据えためあての設定について話しました。

寒い毎日ですが、冬のキラリを見つけよう

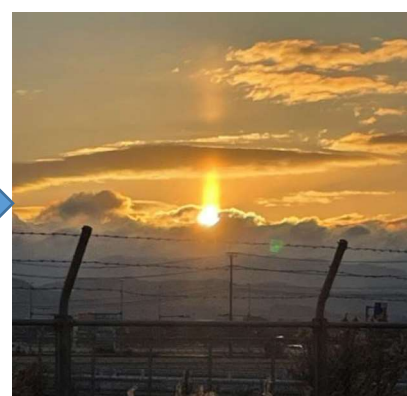
今年の冬は去年よりも寒い日が多いような気がします。1月10日(金)の朝は、グッと冷え込んで氷点下になりました。夜間に少し雪も降っていたようでした。登校する子どもたちは少しだけ残っている雪や凍った水たまりに触れ、「冷た〜い」と冬を体感していました。実は子どもたちが門を通り始めた同時刻(7時40分頃)、東の空では、寒い日に見られる大気光学現象が起きていました。以下の写真は、1月10日(金)の朝、運動場や東門のところから東の空を撮影したものです。



7:36 うっすらと光の筋が見える



7:39 日の出が近づくと光が柱のように太く



7:40 日の出直前が最も太い柱に

これは寒いときの日の出や日の入り時に、まれに見られる「太陽柱」という現象だそうです。風のない寒い日に、空気中に六角板状の氷の結晶が浮遊していると、その氷に太陽の光が反射して光が柱状に見えるそうです。実は、2年前の雪が積もった日の朝もこの現象が見えたのですが、今回の太陽柱のほうが大抵ははっきりしてきれいでした。寒い日でも外に出てみるといいことがあるものです。冬の朝は寒いですが、冬ならではの自然に触れることができるのもこの時期だけです。寒い朝も「エイッ」と起きてみませんか。(日の出後の太陽は直接見ないように気をつけましょう)